



- ・ 境港まちづくり懇談会 委員名簿
- ・ 策定経過
- ・ 用語解説

境港まちづくり懇談会 委員・幹事名簿

●境港まちづくり懇談会委員

区 分	機 関 名	職 名	氏 名
学識経験者	米子工業高等専門学校	名誉教授	熊谷 昌彦
〃	米子工業高等専門学校	准教授	天野 圭子
行政機関	西部総合事務所 農林局 農林業振興課	課長	前田 喜功
〃	西部総合事務所 米子県土整備局 計画調査課	課長	米増 俊文
〃	境港管理組合	次長	下場 和重
各種団体	境港商工会議所	地域振興特別委員会 委員長	津田 純司
〃	境港市観光協会	事務局長	古橋 剛
〃	境港青年会議所	理事長	野々村 崇
〃	境港市農業委員会	会長	足立 晋哉
〃	境港市次世代農家の会	会長	井上 竜輔
〃	境港水産振興協会	専務理事	江尻 敏美
〃	境港市教育委員会	教育委員	中田 耕治
〃	鳥取県建築士会	専務理事兼事務局長	澤田 廉路
〃	境港市女性団体連絡協議会	副会長	松下 秀子
〃	航空自衛隊美保基地	第3輸送航空隊 司令部 監理部 渉外室長	酒井 明
〃	境港市地域日本語教育コーディネーター		大原 浩明
〃	境港消防署	副署長	武田 博
〃	境港市消防団	団長	北村 登志生
〃	水木しげるロード振興会	会員	池淵 朗弘
〃	夢みなとターミナル KFS共同企業体 (株)きさらぎ	代表取締役社長	木村 光哉
〃	SANKO夢みなとタワー	シニアマネージャー	掃部 真一
〃	株式会社 M a o	代表取締役	松下 弘美
〃	障害者支援センター さかいみなと	相談主幹	進 亜紀
住民代表	境地区自治連合会	会長	山田 哲男
〃	渡地区自治連合会		渡邊 冬樹
〃	外江地区自治連合会	芝町自治会会長	古徳 寧
〃	上道地区自治連合会	会長	大西 毅一郎
〃	余子地区自治連合会	コミュニティスクール導入準備委員会 会長	足穂 豊
〃	誠道地区自治連合会		岩本 信二
〃	中浜地区自治連合会	会長	足立 勝美

●境港まちづくり懇談会幹事

区 分	所 属	職 名	氏 名
境港市	総務部	部 長	築谷 俊三
〃	市民生活部	部 長	永井 卓真
〃	産業部	部 長	柏木 頼文
〃	建設部	部 長	灘 英樹
〃	福祉保健部	部 長	阿部 英治
〃	総務部	防災監	黒崎 亨
〃	教育委員会	事務局長	松原 隆

策定経過

境港市都市計画マスタープランは、人口減少や高齢化、産業構造、社会情勢の変化など様々な課題がある中で、地域資源を活かしたまちづくりを進めていくため、身近にある課題やまちづくりに対する考えについて幅広く意見を募り、市民、事業者および行政を含めた多くの人の参加に基づいたものになるよう、市の考え方など、できるだけ多くの情報を提供しながら策定を進めてきました。

令和2年度

-
- 10月27日 第1回まちづくり懇談会
 - 11月1日 アンケート「まちづくりに関する100の質問」実施(3,000名)

令和3年度

-
- 4月4日 渡地区ワークショップ
 - 4月11日 上道区ワークショップ
 - 4月18日 境地区ワークショップ
 - 5月9日 外江地区ワークショップ
 - 5月16日 誠道・余子地区ワークショップ
 - 5月23日 中浜地区ワークショップ
 - 11月4日 第2回まちづくり懇談会
 - 11月25日 第3回まちづくり懇談会
 - 2月24日 第4回まちづくり懇談会
 - 3月30日 都市計画審議会

境港市都市計画マスタープラン策定事務局

所 属	職 名	氏 名
建設部	部長	灘 英樹
〃	次長	柏木 雅昭
建設部 都市整備課	課長補佐	遠藤 彰
〃	課長補佐	小笠原 和央
〃	係長	江尻 浩介

用語解説（50 音順）

あ	ICT（アイシーティー）	ICTは「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指します。情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称です。ICTは、ITに「Communication（通信、伝達）」という言葉が入っており、ITよりも通信によるコミュニケーションの重要性を強調しています。単なる情報処理にとどまらず、ネットワーク通信を利用した情報や知識の共有を重要視しています。
	一次救急（二次救急、三次救急）	救急業務は都道府県それぞれが医療法における医療計画によって、症状と緊急性から3段階に分けて医療体制を整えています。この3段階というのが、一次救急、二次救急、三次救急にあたります。一次救急（初期救急）とは、入院の必要がなく帰宅可能な軽症患者に対して行う救急医療のこと、二次救急を提供できるのは、24時間体制で救急患者の受け入れができるようになっていて、手術治療も含めた入院治療を提供できる設備が整っていること、救急医療の知識と経験が豊富な医師が常に従事していること、救急患者のための専用病床が整備されていることなどの条件を満たしている病院、三次救急は、一次救急や二次救急では対応できない重症・重篤患者に対しておこなう医療です。
	イノベーション	イノベーションは日本語で「技術革新」などと訳されることが多いようです。しかし実際には、イノベーションが示す「革新」は技術には限りません。今までになかった新しい仕組み、新しい技術を取り入れ、社会全体に大きな影響をもたらすことをイノベーションと呼びます。
	ウィズコロナ、アフターコロナ	「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）との共存・共生」という意味で使われます。2019年に発生した新型コロナウイルスの感染拡大が長期化し、今後も繰り返し流行する可能性が高いと予想されることから、人々の暮らし方や価値観の変化を論じる際になどに使われるようになりました。関連する言葉に、「新型コロナウイルスが蔓延した後の世界」を意味する「アフターコロナ」「ポストコロナ」などがあります。
	ウェルビーイング	「ウェルビーイング」（well-being）とは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念で、「幸福」と翻訳されることも多い言葉です。世界保健機関（WHO）憲章の前文では、「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態（well-being）にあることをいいます（日本WHO協会：訳）」とされています。
か	GIGAスクール	GIGAスクール構想（文部科学省）とは、1人1台の端末と高速通信環境の整備をベースとして、Society 5.0の時代を生きる子供たちのために「個別最適化され、創造性を育む教育」を実現させる施策です。GIGAは「Global and Innovation Gateway for All」の略で、「全ての人にグローバルで革新的な入口を」という意味が込められています。
	グリーンベルト	グリーンベルトとは、文字通り「みどり」の帯のことです。それぞれの分野でグリーンベルトが指すものや目的は異なり、都市計画・緑地計画の分野では、大都市の無秩序な拡大を防止するため、「グリーンベルト」と呼ばれる緑地が都市計画行政に取り入れられました。
	クリーク	「creek」は小川や川の支流、入江を指すのが本来の意味ですが、灌漑（かんがい）や水運を目的として人手の入った水路や運河を指す場合があります。本文では「運河」を指しています。
	クラスター型の都市構造	クラスターとは「ぶどうの房」のことです。一極集中に対し、多核型の構造をクラスター型といいます。
	ゲートウェイ	ゲートウェイ（Gateway）とは、直訳すると「門のある道」で「玄関」や「入口」を意味する英語ですが、通信手段の異なる両者の中継するネットシステムや機器そのものを指すインターネット単語として広く用いられています。本文では、各地を結ぶ物流ネットワークの拠点を指します。
	コンパクトシティ	コンパクトとは「小さくまとまった」という意味です。この言葉からも分かるように、コンパクトシティは郊外に居住地域が広がるのを抑え、できるだけ生活圏を小さくした街を意味します。
	コンパクトシ+ネットワーク	住宅や商業施設、医療・福祉施設などの生活サービス施設がまとまって立地し、住民が公共交通や徒歩などにより、これらの施設に容易にアクセスできるまちづくりの考え方です。
	コミュニティ	まち、住宅地、集落などの地域性、共同性という要件で構成されている地域社会のことを指します。

	用語	説明
か	講、結	講とは貯蓄や金の融通のために組織した相互扶助の団体のことです。無尽講・頼母子講(たのもしこう)などがあります。結とは労働力を対等に交換しあって田植え、稲刈りなど農の営みや住居など生活の営みを維持していくために共同作業をおこなうこと、もしくはそのための相互扶助組織のことをいいます。
	さ	
	シームレス	「継ぎ目のない」という意味で、具体的なバリアフリー対策、同一ホームによる乗り換え、相互直通運転化などの取り組みがあります。
	人口ビジョン	人口ビジョンは、各地方公共団体における人口の現状を分析し、人口に関する地域住民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するものです。地方版総合戦略において、まち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な施策を企画立案する上で重要な基礎と位置付けられています。
	社会的弱者	雇用・就学の機会や人種・宗教・国籍・性別の違い、あるいは疾患などによって、所得・身体能力・発言力などが制限され、社会的に不利な立場にある人です。高齢者・障害者・児童・女性・失業者・少数民族・難民・貧困層などが社会的弱者となり得ます。
	消防活動困難区域	密集市街地における防災街区の整備の促進に関する法律（密集法）では、火災又は地震が発生した場合において延焼防止上及び避難上確保されるべき機能を有する公共施設として、幅員6m以上の道路網（以降、「広幅員道路網」と記す。）が位置づけられています。消防車が支障なく走行するためにも、広幅員道路網は重要です。東京消防庁は、広幅員道路網から直線距離に基づいて140m以遠の区域を「消防活動困難区域」と定義しています。
	ストック	ストックとは「在庫」を意味します。ここでは、市街地において今まで整備されてきた道路、公園、下水道などの都市基盤施設や、住宅、商業施設、業務施設、工業施設などのことです。
た	スマートシティ	デジタル技術を活用して、都市インフラ・施設や運営業務等を最適化し、企業や生活者の利便性・快適性の向上を目指す都市です。具体的には、都市内に張り巡らせたセンサー、カメラ、スマートフォン等を通じて環境データ、設備稼働データ・消費者属性・行動データ等の様々なデータを収集・統合してAIで分析し、更に必要に応じて設備・機器などを遠隔制御することで、都市インフラ・施設・運営業務の最適化、企業や生活者の利便性・快適性向上を目指す都市になります。
	ゼロカーボンシティ	ゼロカーボンシティとは、「2050年（R32年）までにCO2（二酸化炭素）の排出量を実質ゼロにすることを目指す旨（脱炭素化）を、首長もしくは地方公共団体から公表された都道府県または市町村」のことを指しています。
	淡水レンズ	透明なビニール袋に淡水をつめて海に入れると、淡水は海水に比べてほんの少し比重が小さいために水面に浮かびます。島の地下では水の拡散速度が遅いので、ビニール袋がなくても交じり合わずに、淡水が海水に浮いたかたちで安定します。周囲を海で囲まれた島では淡水の部分が凸レンズのような形になるので「淡水レンズ」と呼ばれます。
	DID（ディーアイディー）	D I D（Densely Inhabited Districtの略）とは人口集中地区のことで、日本の国勢調査において設定される統計上の地区を意味します。市区町村の区域内で、人口密度が1km ² あたり4,000人以上の基本単位区が互いに隣接して人口が5,000人以上となる地区がこれに該当します。
	TEU（ティーイーユー）	TEUとは、20フィートで換算したコンテナ個数を表す単位のことです。海上コンテナは、輸出入されるため国際的に統一された構造となっており、サイズも20フィートと40フィートが一般的に使用されていますが、このうち20フィートコンテナ1個分を1TEUと呼んでいます。40フィート1個分は1FEU(forty-foot Equivalent Unit)という単位がありますが、むしろ2TEUに換算されるのが一般的です。
	貯水機能	本文では農地の貯水機能（水をためておく機能）について述べています。水田及び畑の大雨時における貯水能力を意味します。
	都市計画法（第6条の2）	「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（都市計画法（第6条の2））」（通称「区域マスタープラン」）は、法の規定に基づき、都市計画区域毎に都道府県が定める都市計画の総合的な方針です。
	都市計画法（第18条の2）	「市町村の都市計画に関する基本的な方針（都市計画法（第18条の2））」（通称「市町村マスタープラン」）は、市町村の区域を対象とし、より地域に密着した見地から、その創意工夫のもとに、市町村の定める都市計画の方針を定めるものです。都道府県が策定した「区域マスタープラン」およびそれぞれの市町村議会の議決を経た「基本構想」に即して定められます。

	用語	説明
た	都市構造の評価に関するハンドブック	コンパクトなまちづくりを目指す状況を構築するため、国土交通省において、2013年度（H25年度）より都市構造を評価する手法についての調査に着手し、同調査の一環として「都市構造の評価手法に関する研究会」を設置し、検討を重ねてきました。「都市構造の評価に関するハンドブック」は、同研究会における検討成果をもとに、各都市におけるコンパクトなまちづくりに向けた取組を支援する参考図書として、都市構造の評価手法をとりまとめたものです。
	都市公園	都市公園法に定められた、国または地方自治体が設置した公園のことをいいます。つまり、日本全国すべての地方自治体が設置した公園は「都市公園」ということになります。「都市公園」とは、「都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）」第 2 条に定義されており、その内容を要約すると 1 地方公共団体が都市計画施設（都市計画法に基づき定められた施設）として設置する公園又は緑地。 2 地方公共団体が都市計画区域内に設置する公園又は緑地。 3 国が一の都府県の区域を越えるような広域の見地から設置する都市計画施設である公園又は緑地。 4 国が国家的な記念事業として、又は我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため、閣議の決定を経て設置する都市公園施設である公園又は緑地。 と定義されています。
は	ハザードマップ	一般的に「自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図」とされています。防災マップ、被害予測図、被害想定図、アボイド（回避）マップ、リスクマップなどと呼ばれるものもあります。
	バックキャストिंग	未来のある時点に目標を設定しておき、そこから振り返って現在すべきことを考える方法です。地球温暖化対策のように、現状の継続では破局的な将来が予測されるときに用いられます。
	バッファゾーン	バッファゾーンは「緩衝地帯」と言われることもある環境アセスメント、及び建築用語です。道路や工場など暮らしの妨げになる存在と住宅の間に設けるエリアをバッファゾーンと呼び、騒音や振動などの公害から住まい手を守る効果があります。
	パブリックアート	パブリックアート（public art）とは、美術館やギャラリー以外の広場や道路や公園など公共的な空間（パブリックスペース）に設置される芸術作品を指します。設置される空間の環境的特性や周辺との関係性において、空間の魅力を高める役割をになう、公共空間を構成する一つの要素と位置づけされます。
	バリアフリー	段差や仕切りをなくすなど高齢者や障害者が日常生活をおくるうえで不便な障害となっていること（バリア）を除去（フリー）し、障害者などが安心して暮らせる環境をつくることです。
	PDCAサイクル	Plan（計画）、Do（実行）、Check（測定・評価）、Action（対策・改善）の仮説・検証型プロセスを循環させ、マネジメントの品質を高めようという概念です。
	PPP/PFI	公民が連携して公共サービスの提供を行うスキームをPPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携）と呼ぶ。PFI（PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）とは、公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方）は、PPPの代表的な手法の一つ。
	フレイル予防	フレイルは、高齢期に病気や老化などによる影響を受けて、心身の活力（筋力や認知機能など）を含む生活機能が低下し、将来要介護状態となる危険性が高い状態です。したがって、フレイル予防は、より早期からの介護予防（＝要介護状態の予防）を意味しており、従来の介護予防をさらに進めた考え方といえます。
	ホスピタリティ	狭義の定義では、人が人に対して行なういわゆる「もてなし」の行動や考え方になります。広義の定義では、ホスピタリティが二者間の話にとどまらないことを言っています。社会全体に対して、その構成員である人々が、ホスピタリティの精神を発揮することで、相互に満足感を得たり、助け合ったり、共に何かを創りあげることができ、それによって社会が豊かになっていくということを意味します。

	用語	説明
ま	マイ・タイムライン	マイ・タイムラインとは住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。
や	輸入促進地域（FAZ）	FAZとは、1992年（H4年）の「輸入の促進及び対内投資事業の円滑化に関する臨時措置法」に基づき設定された輸入促進地域のことです。各地の空港に港湾付近に物流拠点を整備し、輸入関連業務を集積させ、物流コストの削減、輸入貨物取扱の効率化、輸入ビジネスの拡大を狙うものです。「輸入の促進及び対内投資事業の円滑化に関する臨時措置法(FAZ法)」は2006年（H18年）5月29日の法期限をもって廃止されました。
	ユニバーサルデザイン	ユニバーサルデザインはあらかじめ、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方です。
わ	ワークショップ	ワークショップは、「与えられたプログラムや課題を体験しながら学ぶことができる場所」です。ワークショップの特徴は、参加者全員で共同作業をしながら課題をクリアしていくことです。講義を聞くだけ、与えられたことを個人でこなすだけではなく、自主的に参加する「体験型講習会」といえます。

計画策定における参考資料

テクニカルレポート - 1

境港市都市計画マスタープランに関する居住地カルテ調査

テクニカルレポート - 2

境港市都市計画マスタープランに関するアンケート調査

テクニカルレポート - 3

境港市都市計画マスタープランに関連する上位計画・関連計画の調査

テクニカルレポート - 4

境港市都市計画マスタープランに関するワークショップ意見の整理

テクニカルレポート - 5

旧版地図からみた市域の変遷

テクニカルレポート - 6

実現化方策の調査

テクニカルレポート - 7

今後予測される社会変化の調査

テクニカルレポート - 8

JR 境線およびバス交通に関する調査

テクニカルレポート - 9

社会実験に関する調査

GIS（データ整理・分析）

【使用データ】

- ・境港市提供データ（都市計画基礎調査（H29）等）
- ・国土数値情報（国土交通省）
- ・基盤地図情報（国土地理院）
- ・政府統計の総合窓口（総務省統計局）
- ・その他独自の作成データ

境港市 建設部 都市整備課 都市政策係

〒 684-0033 鳥取県境港市上道町 3000

Tel 0859-47-1066 Fax 0859-47-1086
